

# 2018年3月期 第2四半期決算概要

2017年10月30日  
メタウォーター株式会社

- I 2018年3月期第2四半期ハイライト  
および2018年3月期業績予想
- II 2018年3月期第2四半期決算概要

## セグメント情報

- **プラントエンジニアリング事業** (略語: PE事業) 国内EPC事業、海外事業  
当セグメントでは、国内外の浄水場内の浄水プロセス、下水処理場内の下水処理プロセス、汚泥処理プロセス、燃料化プロセスに使用する機械設備の設計・建設と、それらを運転、監視、制御するための電気設備の設計・建設を核とした各種エンジニアリングを主たる業務としています。
- **サービスソリューション事業** (略語: SS事業) 国内O&M事業、国内PPP事業  
当セグメントでは、国内の浄水場、下水処理場、ごみ処理施設・リサイクル施設向けの機械設備や電気設備の補修工事、運転・維持管理(保守・点検)、運営などの各種サービスを主たる業務としています。

## 略語

EPC	Engineering, Procurement and Construction: 設計・建設
O&M	Operation and Maintenance: 運転・維持管理
PPP	Public-Private Partnership (公民連携): 公共サービスの提供に民間が参画する手法
PFI	Private Finance Initiative: 公共施設の設計・建設、運転・維持管理、資金調達に民間を活用する公共事業の手法
DBO	Design, Build and Operate: 公共施設などの設計・建設、運転・維持管理に民間を活用する公共事業の手法

- I 2018年3月期第2四半期ハイライト  
および2018年3月期業績予想
- II 2018年3月期第2四半期決算概要

# '18/3期2Q決算ハイライト

## 売上高・利益

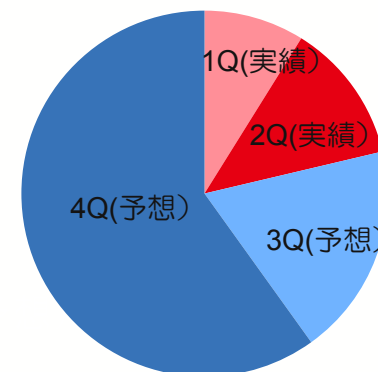
\* 当2Q累計の減収減益は、案件構成の違いによるもので、通期業績予想に織り込み済み(予想通り)

\* 四半期純利益は、前期に生じた米国子会社の税効果がなくなり、定常化

## 受注高

\* 前期受注を予想していたPPP案件の当期へのずれ込みと大型案件の受注により、当2Q累計の受注高は前期実績を上回り、当2Q末の受注残高は増加傾向を持続(参考)'17/3期2Q末1,343億円→'18/3期2Q末1,549億円

'18/3期 四半期別売上構成



## 通期業績予想

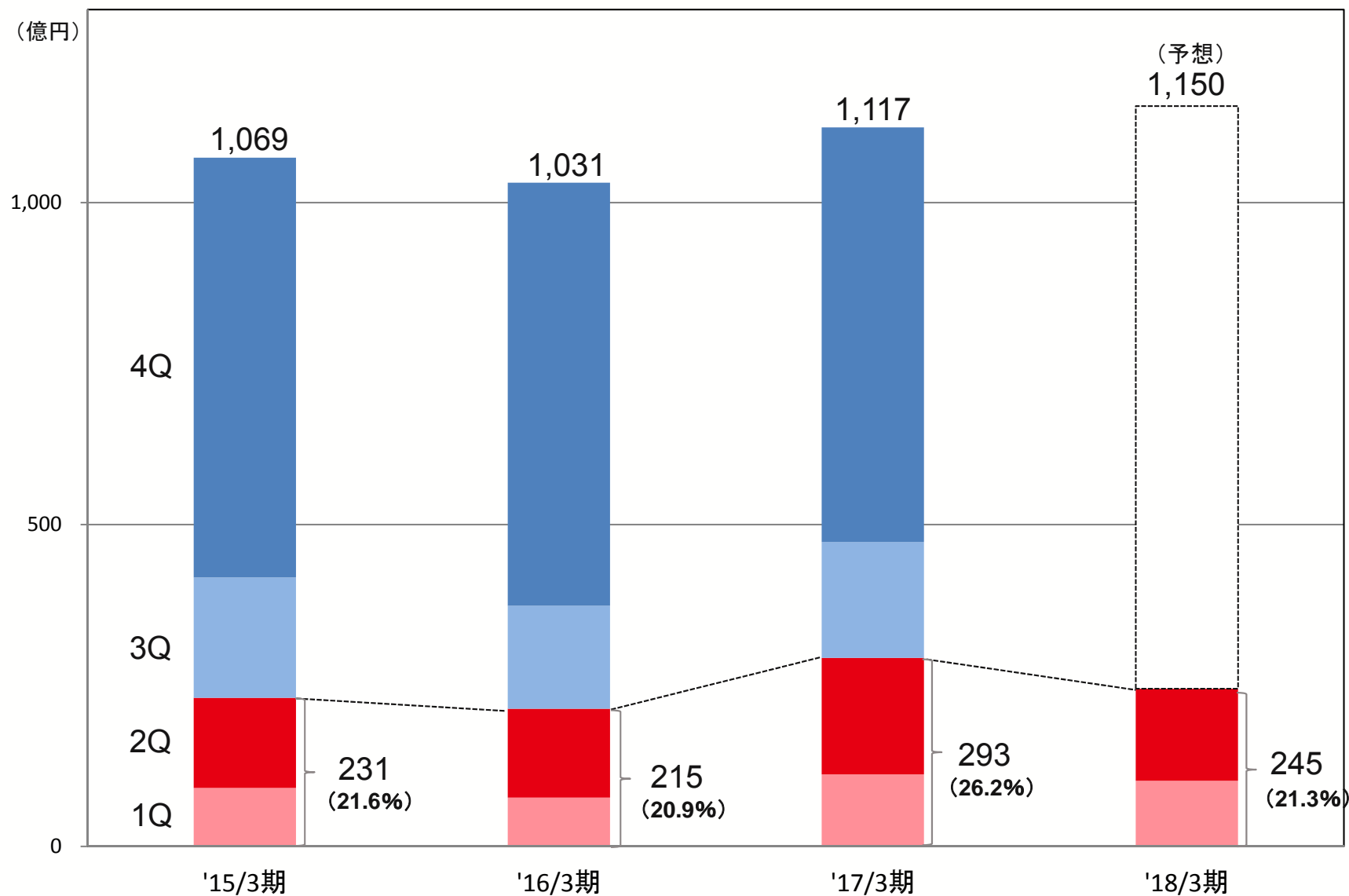
\* '17/3期末受注残高および'18/3期受注高のうち、'18/3期工事進行分の各々の計画を精査した結果、期初計画は据え置き

(億円)

	受注高	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益*	配当(円)
'18/3期2Q累計 実績	642 前期比: +79 +14.0%	245 前期比: ▲47 ▲16.2%	-51 前期比: ▲11	-51 前期比: ▲7	-36 前期比: ▲10	(第2四半期末) 29 11月決議予定
'17/3期2Q累計 実績	563	293	-40	-44	-26	(第2四半期末) 29
'18/3期 通期予想	1,250 前期比: +54 +4.9%	1,150 前期比: +33 +3.0%	65 前期比: +2 +2.7%	64 前期比: +1 +2.4%	42 前期比: ▲5 ▲11.4%	58 前期比: ±0

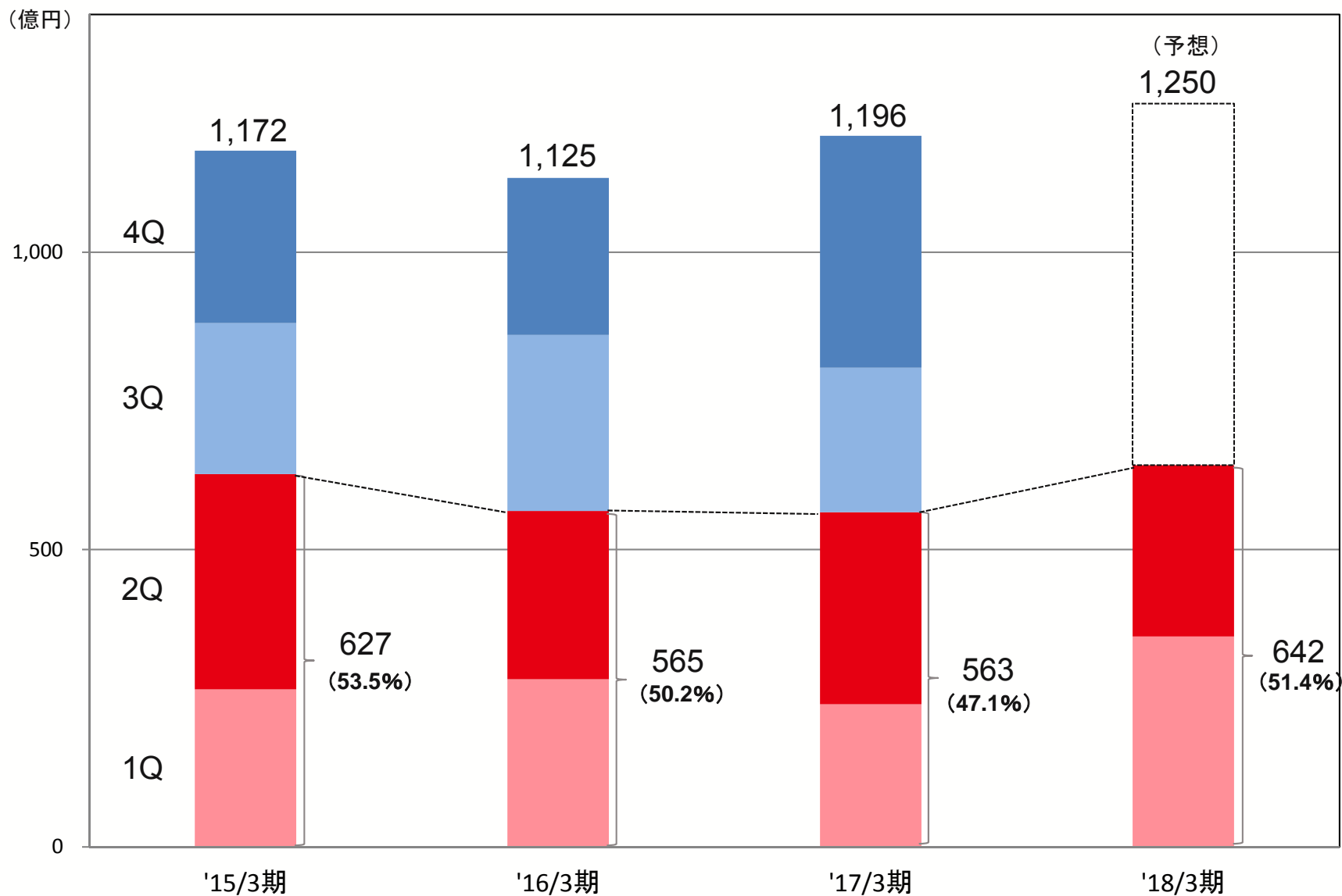
# 2Q累計 売上高推移

当社グループの事業は、国内公共事業が大半で、売上・利益が4Qに著しく偏る傾向があり、例年2Q累計の売上高は年間の25%前後。当2Q累計の売上高も例年並みの水準。



# 2Q 受注高推移

例年2Q累計の受注高は年間の50%前後。当2Q累計の受注高も例年並みの水準。



\* 工事受注: **10億円規模以上6件\***(前期5件)、**5億円以上10億円未満5件**(前期8件)  
の工事を受注

\*うち**PPP 案件は1件**、通算では上下水道分野**58件中28件**に参画

<参考> 大阪市海老江下水処理場改築更新事業 2017年10月契約締結

\* 工事完了: **受注高5億円以上の工事を4件**(前期6件)完了

\* 運転・維持管理 受託: **2件\***

<参考> 川崎市下水道アセットマネジメント情報システム(施設・設備、事業管理)  
構築業務2017年10月契約締結

\* 運転・維持管理 業務開始: **3件\***

\*運転・維持管理 受託2件を含む3件で業務開始



- \* 古野電気と小型Xバンド 二重偏波ドップラ気象レーダの販売契約を締結  
(平成27年度B-DASH\*実証研究で使用の気象レーダ)
- \* 当社社員が平成29年度東京都功労者表彰「労働精励」受賞
- \* 川井浄水場セラロッカ 見学者1万人突破
- \* 水・環境インフラ施設向け「設備運転員訓練センター」を設置(本日発表)

\*B-DASH (Breakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Project) 国土交通省が実施する下水道革新的技術実証事業

# PPP事業の進展に向けた取り組み

水・環境インフラ施設向け「設備運転員訓練センター」を設置し、ニーズが高まる上下水道事業の包括化、広域化に対応

## 〈従来型〉

特徴:仕様発注



EPC

O&M

機械設備

運転

電気設備

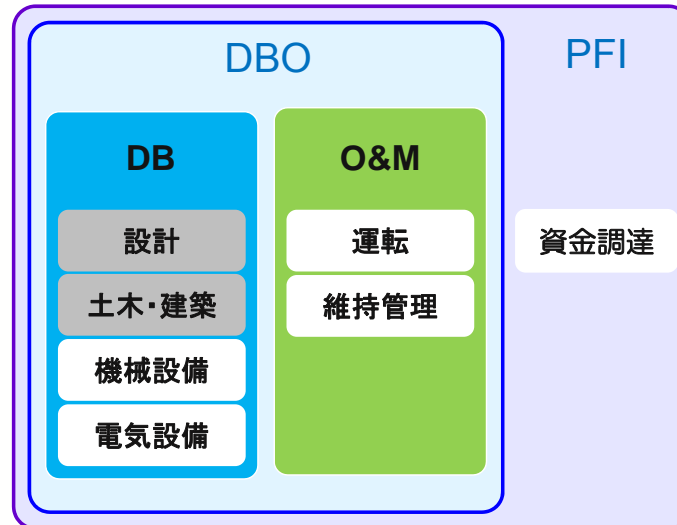
維持管理

## 〈包括化〉

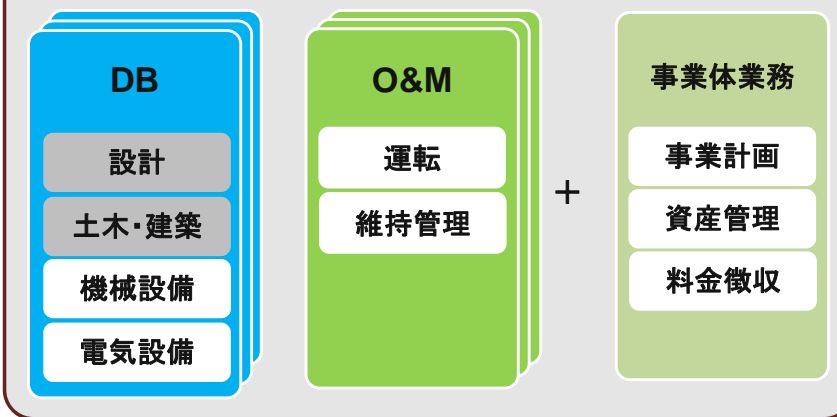
特徴:性能発注



## 〈包括化+広域化〉



## コンセッションなど



I 2018年3月期第2四半期ハイライト  
および2018年3月期業績予想

II 2018年3月期第2四半期決算概要

## Ⅱ 2018年3月期第2四半期決算概要

- 1 連結損益計算書
- 2 セグメント情報
- 3 連結貸借対照表
- 4 連結キャッシュ・フローの状況

# 連結損益計算書

(単位: 億円)

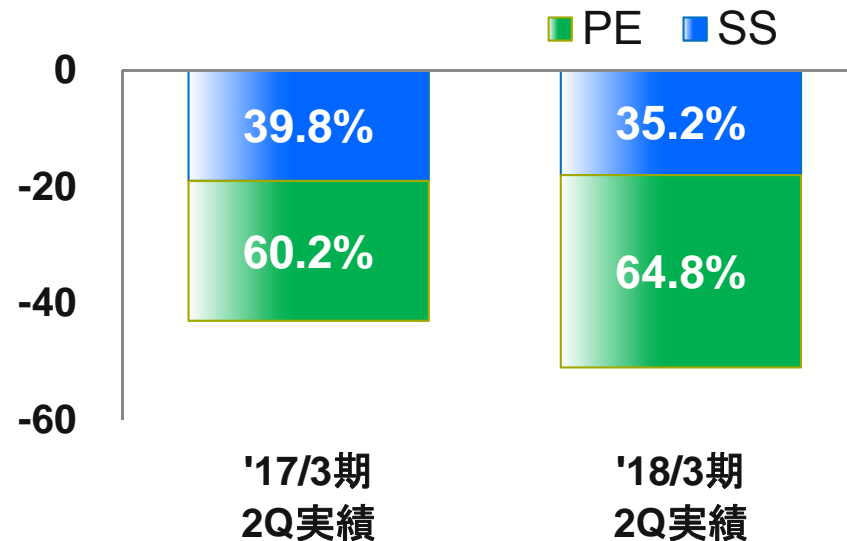
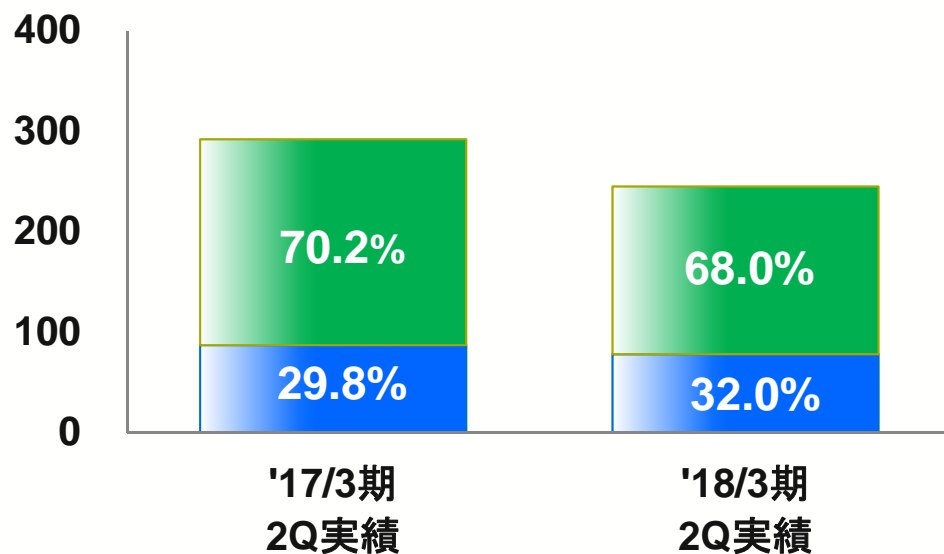
	'17/3期 2Q実績	'18/3期 2Q実績	増 減
売 上 高	293	245	▲47
営 業 利 益	-40	-51	▲11
( 営 業 利 益 率 )	-13.7%	-20.9%	▲7.2%
経 常 利 益	-44	-51	▲7
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	-26	-36	▲10

\* 10百万円単位を四捨五入

(単位: 億円)

	売上高		
	'17/3期 2Q実績	'18/3期 2Q実績	増 減
PE	205	167	▲39
SS	87	78	▲9
合計	293	245	▲47

	営業利益		
	'17/3期 2Q実績	'18/3期 2Q実績	増 減
	-24	-33	▲9
	-16	-18	▲2
	-40	-51	▲11



# 連結貸借対照表

(単位:億円)

	'17/3期 期末実績	'18/3期 2Q末実績	増 減
現金・預金	242	337	+95
売上債権	679	286	▲394
棚卸資産	72	157	+84
繰延税金資産	16	16	+0
その他	26	39	+14
<b>流動資産計</b>	<b>1,036</b>	<b>834</b>	<b>▲202</b>
有形固定資産	31	30	▲1
無形固定資産	82	75	▲7
その他	62	63	+1
<b>固定資産計</b>	<b>174</b>	<b>167</b>	<b>▲7</b>
<b>総資産計</b>	<b>1,210</b>	<b>1,001</b>	<b>▲209</b>

	'17/3期 期末実績	'18/3期 2Q末実績	増 減
買入債務	308	103	▲204
短期借入金 <sup>*1</sup>	(8)11	(13)16	+5
前受金	87	160	+74
その他	80	49	▲31
<b>流動負債計</b>	<b>485</b>	<b>329</b>	<b>▲157</b>
長期借入金 <sup>*2</sup>	(124)148	(120)143	▲5
その他	54	53	▲1
<b>固定負債計</b>	<b>202</b>	<b>195</b>	<b>▲6</b>
<b>負債計</b>	<b>687</b>	<b>524</b>	<b>▲163</b>
純資産計	523	477	▲46
<b>負債・純資産合計</b>	<b>1,210</b>	<b>1,001</b>	<b>▲209</b>

\*1 \*2 : カッコ内の数値はPFI等プロジェクトファイナンス・ローンの金額

# 連結キャッシュ・フローの状況

(単位: 億円)

	'17/3期 2Q実績	'18/3期 2Q実績	増 減
現金・現金同等物の前期残高	200	234	+34
営業キャッシュ・フロー	66	109	+43
投資キャッシュ・フロー	-11	-5	+6
フリー・キャッシュ・フロー	55	104	+49
財務キャッシュ・フロー	-13	-9	+5
現金・現金同等物に係る 換算差額	-3	-0	+3
現金・現金同等物の期末残高	239	329	+90



## ディスクロージャーポリシー

### 1. 基本方針

当社グループは、企業理念に基づき、社会とともに持続的な発展を遂げるため、すべてのステークホルダーの皆様への期待にお応えし、社会から信頼され、社会に貢献し続ける企業グループを目指します。この考え方に則り、当社グループは、ステークホルダーの皆様や社会に対して当社グループに係る企業情報を公正・公平かつ適時・適切に開示するとともに、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションをはかることにより、当社グループに対する理解促進をはかり、透明性・信頼性の高い経営に努めます。

### 2. 情報開示の基準

会社法、金融商品取引法等の諸法令および金融商品取引所の定める規則等により開示が求められる企業情報について、それぞれの法令や規則等に則り、情報開示を行います。また、法令や規則等に該当しない企業情報であっても、ステークホルダーの皆様により有用であると判断される情報や社会的に開示が必要と判断される情報について、可能な限り積極的に情報開示を行います。

### 3. 情報開示の方法

上記の法令や規則等により開示が求められる企業情報については、それぞれの法令や規則等で定められた方法により情報開示を行うとともに、当社ホームページに掲載します。上記の法令や規則等に該当しない企業情報については、その重要性や緊急性を考慮し、報道機関や当社ホームページ等を通じて情報開示を行います。

### 4. 情報開示後のコミュニケーション

開示した情報に関して、会見、説明会、取材、問い合わせへの回答等を通じ、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションをはかります。また、コミュニケーションを通じてステークホルダーの皆様からいただいたご意見等は、当社グループ内で共有し、今後の参考とさせていただきます。

### 5. 沈黙期間

決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算(四半期決算を含む)期末日の翌日から決算発表までを沈黙期間とします。沈黙期間中は、業績予想の修正に関する情報開示を行った場合を除き、決算・業績見直しに関する会見、説明会、取材、問い合わせへの回答等は差し控えます。

### 6. 将来の見通しについて

当社グループが開示する業績予想、戦略、目標等のうち将来の見通しに関する記述は、当社グループがその時点で入手している情報および合理的であると判断される一定の前提を根拠としており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

### 7. 社内体制の整備

ディスクロージャーポリシーを遵守し、適切な情報開示およびステークホルダーの皆様とのコミュニケーションがはかれるよう、社内体制を構築するとともに社内規程を整備します。



【本資料に関するお問い合わせ先】

メタウォーター株式会社 CSR推進室 広報IR部

Tel: 03-6853-7317 Fax: 03-6853-8709 E-mail: pr@metawater.co.jp

**工事受注(10億円規模以上)**

	案件名	顧客	都道府県	セグメント
1Q	日野市クリーンセンタープラスチック類資源化施設建設工事	日野市	東京都	SS(環境)
	秋田県北地区広域汚泥資源化事業	秋田県	秋田県	SS(PPP)
	新河岸水再生センター汚泥焼却炉脱水設備	東京都下水道局	東京都	PE
	森ヶ崎水再生センター再構築工事	東京都下水道局	東京都	PE
	相模原浄水場監視制御設備改良工事	神奈川県広域水道企業団	神奈川県	PE
2Q	芝浦水再生センター東系高速ろ過設備工事	東京都下水道	東京都	PE
*	大阪市海老江下水処理場改築更新事業 2017年10月契約締結(3Q)	大阪市	大阪府	SS

\* 2017年10月30日現在

**運転・維持管理 受託／業務開始**

	案件名	顧客	都道府県	セグメント
1Q	下呂市水道施設運転管理業務 [新規受託・業務開始]	下呂市	岐阜県	SS
	下呂市水道施設運転管理業務 その2 [新規受託・業務開始]	下呂市	岐阜県	SS
	中島浄化センター及び中島雨水ポンプ場外 運転管理業務 [業務開始(既受託分)]	静岡市	静岡県	SS
*	川崎市下水道アセットマネジメント情報システム構築業務 2017年10月契約締結(3Q)	川崎市	神奈川県	SS

\* 2017年10月30日現在